

桐原 純男議員



Q 白水地区小学校統合は

A 保護者の意見を聞き
早くても5年後になる

桐原議員

村内では、白水地区の3小学校だけが、統合されていない。少子化に伴う児童の減少により統合は避けて通れないだろう。子どもの将来を考えると切磋商磨していく環境を整えるため、早期統合が必要だ。本年度は、地震も

あり、話が滞っているが、早急に村内同じ環境整備を進めるべきではないか。
また地域や保護者に理解して頂くため将来の入学者数の推移等、周知が必要だ。各学校の児童数の現状と今後の予想、統合の時期、場所の決定等、跡地利用も含め計画は。

教育長

児童数の推移は前表のとおり。

白水3小の統合は適正規模等審議会において、中学校の統合後に進める答申をいただいている。近い将来統合は避けて通れない。統合により、両併小のオール複式は解消されるが、保護者、地区の方々の同意なくして統合は、成り立たない。学校の統合は県が2年がかりで人事配置をするので、2〜3年かかる。決定した以上は何があっても統合しなくてはいけない。3年後決定し、5年後には統合する強い意思を持って取り組む必要があると考える。

児童数の推移

	小6	5	4	3	2	1	合計	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
両併	7	4	6	8	8	7	40	6	9	4	4	6	5
中松	12	9	12	13	13	11	70	15	11	18	13	6	14
白水	23	15	10	10	13	14	85	10	14	13	9	11	8
合計	42	28	28	31	34	32	195	31	34	35	26	23	27

※11月末現在



統合が望まれる白水地区小学校

Q 情報公開について
議会の映像配信は
A 公開制度の充実を
配信可能になる

桐原議員
行政の公正性・透明性を確保し、住民の主体的な参加を促すために情報公開は極めて重要である。
本年度一般会計予算は、地震により大きな被害を受け、例年の3倍近い230億円になった。今後本村の復興・復興・発展をスムーズに進めていくには、情報公開を進め、住民と行政の対話、信頼度を深めていくことが重要だ。また利便性向上のためホームページに例規集を公開してはどうか。現状の説明と今後の取り組みは。

総務課長

情報公開制度の運用については、メールでの請求も可能とするよう制度改正を行いたい。また、住民の積極的な行政参加ができるよう、請求手続きや公開方法の改善を図る。行政情報は、可能な限り積極的に、多くの村民に公平に公開する。総合的な情報公開制度の充実を検討したい。

ホームページでの例規集公開は、今年度中により中断しているが、早く公開したい。
桐原議員
議会に対する村民の的確な理解と判断を仰ぐためには、議会の情報公開も積極的に進めていくべきである。多くの住民に議会を身近に知ってもらうために、会議のインターネットでの映像公開や、議事録

のホームページへの掲載も必要ではないか。現在、新庁舎の建設が進んでいるが、設備の内容や今後の方針は、
議会事務局長
新庁舎議場は最新のシステムを導入する。カメラ3台を設置して録画。議場外に設置される3台のテレビモニターでライブ中継ができる。

議会映像公開については、インターネットのYouTubeで、議会の録画中継等の配信が可能となる。環境も整うので、動画配信、議事録公開など、議員の皆様で議論され事務局に指示をいただきたい。



新議場に設置予定のカメラ (イメージ)